

石垣島トライアスロン

(沖縄県石垣市)

報 告

日 時：2019年4月21日（日）

スタート：8時00分

参加者数：約1000人

距 離：スタンダードディスタンス

スイム1.5km・バイク41km・ラン10km

結 果：総合5位 年代別表彰40～49歳 1位

昨年は豪雨によってスタート直前に中止になった。記憶に残っている方もいるかもしれないが、入院手術、術後のリハビリに明け暮れる1～3月から、復活レースに位置付けていた。まだまだ不安な身体であったこともあり、中止にほっとしたのを覚えている。

今年は違う。まず2週間前に沖縄でレースを開幕し、苦しんだ昨年を乗り越えた自負がある。心の勢いも違う。また南国でのレースは暑ければやりがいもあるが、当初の天気予報はすべて雨。石垣島のレースで雨はサングを混ぜ作られたアスファルトで落車率を上げ危険な状況になる。心配したが、当日は曇りのち晴れ。ほぼ無風でもありコンディションは最高になっていた。スイムもきれいな海では速くなる。今、意識しているバイクも今の段階では最高だと感じる。バイクを終えてランに移るとき、トランジット三番目に二人で飛び出した。優勝した元エリートでプロ選手である山本淳一選手は次元の違う競技力で断トツ。しかし2位とは1分差。

2位まで上がれる！と思ったほどだ。が、しかし、ランは力がすっぽ抜けるような、本来とは程遠い走り。同時に
出た選手へ前を譲ってからは徐々に差が開きだす。自分のランでないことに苦しさは増す。最後の1周回3キロは死力で踏ん張ったが入賞には届かなかった。

結局、総合 5 位（年代別表彰 1 位）だったが、初入賞をしたと喜ぶ若いトライアスリートの姿をみると、うれしそうで成長を喜んでやらなければならないと思えてくるのだ。レースで力を出し切れていないことは悔しいが、成長し続ける若い人たちとまた戦って、しごとく生き様を通した背中を見せてやれるシーズンにしたいと思えた。

昨年の踏ん張りが今、勢いを加速させだしていると感じる。大切にいきたい。

携わっていただけるすべての方々へ感謝致します。

感謝 トライアスリート福元哲郎



